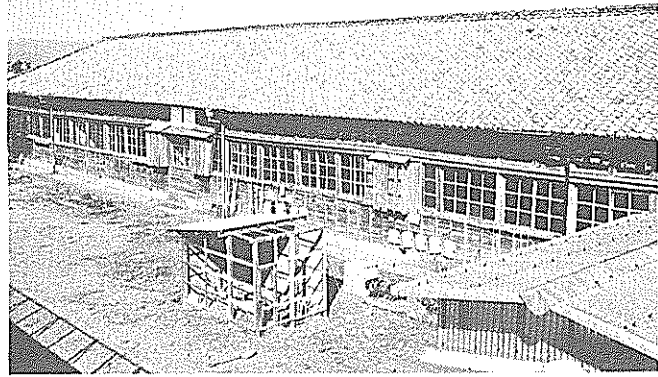


日章小校舎改築に着手



改築が決った日章小校舎

一般会計三億九千万円を追加 建設事業に二億六千万円

九月定例市議会は九月二十六日開会、一般会計補正予算、福祉医療費助成に関する条例など議案十件、報告二件をそれぞれ可決、承認、議員提案の災害対策、国鉄阿佐線対策特別委員会を設置、老人医療対象者の国保税免除に関する意見書など四件を決め、十月五日閉会した。

一般会計補正予算は三億九千九百十五万五千円を追加して総額四億一千八百三十七万七千円。歳入は市税五千円、地方交付税一千円、国庫支出金五千三百二十四万四千円、県支出金七千六百八十八万四千円、寄附金七千五百五十万四千円、諸収入五千七百七十二万二千円、市債五千九百八十八万四千円など。歳出は議員、委員などの報酬改正による人件費二千九百七十六万四千円、貸金準備の引上げなど物件費三千二百五十七万七千円、老人福祉など扶助費千七百九十五万五千円、補助金、負担金や委託料など補助費等二千五百七十七万七千円、普通建設事業費二億六千八百五十四万四千円、災害復旧事業費千四百六十八万四千円、失業対策事業費八百六十六万四千円、農林業小口資金など貸付金二百四十万五千円、債務負担は、一億一千万円で日

章小学校校舎を改築。稲生の承水溝七千万円、古市かんがい排水事業八百四十万、西島かんがい排水事業千四百四十万の元金、利子を補給。吾岡山保育所を社会福祉法人大浦福祉協会設立委員会（代表者佐竹弘光）が建てるための用地購入資金六百六十万円の損失を保証。吾岡山保育所は、同委員会が大浦の大徳寺に私立の保育所を建設しようというもの。計画では鉄筋コンクリート二階建、六二四平方メートル、百二十人収容で五十年後に建築の見込み。

稲生の承水溝 七千万円で改修

【産業建設】前浜・岩村線自転車歩行者専用道路の整備に五百七十九万四千円、あわせて二千七十九万四千円。奈路・中谷線改良九百八十三万四千円、小連・小倉線などの改良八百八十八万四千円、中道線の踏切り撤除二百四十万、三島線の家屋移転補償四百五十万、野田集落補強事業四百三十万、野田線などの舗装五百五十万、中内谷川橋の架替五百五十万、久枝排水路などの新設二百四十万、七区水路の改修三百二十四万、西部水路の改修五百七十七万。災害復旧では、林道釣瓶線百一十三万、定林寺ため池九百二十

日章小校舎改築 来年五月末完成

【教育文化】キャンプ用のテント二〇張、天幕、飯ごう、食器など五十万。小学生副読本（わたしたちの体育、南国の社会など）六十四万。中学生副読本（南国の社会、中学の体育など）四十万。小・中学校校舎の補修など六百四十万。五区集会所の土地購入三百四十万、木造平屋建て一七五平方メートル。先進地の視察など同和研修旅費百五十万。公民館の改修二百十五万。おなが

どりの保存のため四十万、南国市史の編纂のため二十四万。日章小学校の中校舎の西、四教室四三二平方メートルは老朽がはげしく危険なため、そのままになっていた。このため、特別教室がなく公民館を音楽室にするなど不便のうえもなく、校下の市民から改築の要望が強くだされたが、インフレ経済下の財政難のあおりを受けて延びていたもの。改築は一億一千万円の経費で鉄

筋コンクリート二階建八八六平方メートルを建てる。これは前の校舎の二倍の広さ、一階は普通教室四、二階は視聴覚室、音楽室、理科室に使われる。着工は十一月下旬ごろの子定て来年五月末に完成の見込み。

同和地区の 入浴料金助成

【社会福祉】重度心身障害者の医療費の扶助四十三万、西部保育所の設計委託四百万円と本工事の追加四千九十万円。本工事は一部計画変更などによるもので、あわせて総事業費一億五千五百万。野中児童館の設計委託百五十万、野中・南児童館の備品百万、三区児童遊園地の家屋撤去補償五百五十万、更正医療給付百万円など身障者のために百二十七万。かがみの育成園などへの収容委託二百万円など精薄者のために二百八十八万

災害対策特別委を設置

老人医療 対象者の 国保税免除の意見書

特別委員会の設置

▼災害対策特別委員会
二〇〇二年、集中豪雨や台風で被害を受けた久枝、稲生の両地区や国分川などの調査をはじめ、市内の危険箇所を調査をして、総合的な対策をたてようというもの。

▼国鉄阿佐線対策特別委員会
国鉄阿佐線の建設によって、

市が受ける影響を調査し、対策を検討するもの。

国への意見書

▼学校災害補償法制定について
学校で児童生徒が災害にあったときに救済できるような学校災害補償法の早期制定を要望する。

▼公共料金値上げ反対に関して
物価値上げのもとになる消費者物価、国鉄料金など公共料金の値

上げをやめ、物価安定をはかるように望む。

▼学童保育制度について

働く婦人の生活を保障するための学童保育制度の早期実現と発展を望む。

▼老人医療対象者の国保税免除に関して
老人医療費の無料化は、国民の期待にこたえ歓迎されているが、こうした老人たちの国保税については、当然免除されるべきであり早く実施してほしい。

以上、四つの意見書は、いずれも田中総理のほか、関係各大臣あてに送られる。

通学ヘルメット まず香長中に

【環境衛生】

交通公害の指導、災害時の救急避難などのための自動車七十六万。国・県道を通学する中学生にヘルメット代を援助、年次計画でことしは香長中生徒に一人五百円で十五万。稲生石灰企業が公害防止施設をつくるため借り入れた五億円のうち、一割の利子補給五百万。ゴミ焼却場の建設による家屋の移転補償二百二十万。香長衛生など四社に委託して尿処理をしようするため三百五十万。当初とあわせて千三百五十万。防火水槽（前浜・野中・浜改田）二百五十五万。消火栓ボックス（野中）百二十万。明見消火栓六十万。ポンプ運搬車（黒滝）百十五万。

あなたの声を市政に生かそう

市民と市長の対話集会



市政をつくるのは、あなたです。市長を囲んで、あしたの南国市を一語に話し合しましょう。会の催しを希望の地区は代表の方が、ご連絡ください。企画財政課秘書係